

各位

上場会社名	株式会社 山陽百貨店
代表者	代表取締役社長 高野 勝
(コード番号)	8257)
問合せ先責任者	取締役経営企画統括ゼネラルマネジャー 岩野 誠
(TEL)	079-223-1231)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,342	70	24	16	21.05
今回発表予想(B)	20,781	219	175	139	173.87
増減額(B-A)	439	148	151	122	
増減率(%)	2.2	209.4	624.4	725.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	22,622	230	148	100	125.17

平成22年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,280	78	18	12	15.36
今回発表予想(B)	20,731	224	163	129	161.07
増減額(B-A)	450	145	145	117	
増減率(%)	2.2	186.2	805.4	948.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	22,565	244	145	106	132.05

#### 修正の理由

百貨店業界は、消費者の将来不安を背景に低価格志向・節約志向が一層高まり、24ヵ月連続で売上高が前年実績を下回るというかつてない厳しい状況にあります。しかし、売上高の減少幅は3ヵ月連続で5%台にとどまり、徐々に改善の傾向も出てきています。

このような状況の中で当社も営業努力を重ねた結果12月以降の売上高の減少が少額に収まってきたことや、前回予想時に懸念していた新型インフルエンザ流行等のマイナス材料発生がなかったため、売上高は前回予想に比べ450百万円上回る見込みです。

一方、経費面におきましては、広告宣伝費をはじめとする経費の削減は、前回予想時の目標を達成しました。この結果、営業利益は前回予想と比べ145百万円増加する見込みです。営業利益の増加に伴い、経常利益は前回予想と比べ145百万円、当期純利益は前回予想と比べ117百万円増加する見込みです。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正及び連結子会社の動向に基づき修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上